平成25年度　勝田町一番地寄合楽団　第１回総会

平成２５年５月１０日（金）

２０：００～　イベントホール

出席　３０人　委任　１０人

1. 開会
2. 議長選出

議長：横山大輔

1. 議案審議・採決

第１号議案　平成２４年度決算案について

　資料参照。→一般会計、特別会計ともに意見なし

　坪倉会計監査のもと監査報告。団員承認

第２号議案　平成２５年度予算案について

　資料参照。

松本「JWECCの中に委嘱機会がある。この委嘱の話が来るのが毎年秋ごろ。昨年度もすでに委嘱の話があり、JWECC2013の委嘱曲「This is the Drum」を委嘱させていただいた。この経緯については役員でも数回にわたり審議してきたが、事務局長・会計担当の泉原の承諾の上、（コンクールの候補曲としても使える可能性があるのであればOK）すでに委嘱を進めさせてもらったことを承諾してほしい。この金額（委嘱料5万円）は25年度の特別会計に入ってくる。」→承認。

第３号議案　団即等の改定について

　２００７年度に団即を設けるがその後つついていない。昨年度より一般開放をし、鷲見さんが亡くなられたのちの体制も１年たち、軌道に乗ってきたため団即を改定したい。

第３条　「米東OB楽団」ではなくなったため団人資格を明文化した。

第６条　役員について・・・現状に合わせて改定

　　第１４～１６条　会計について・・・実情に合わせて改定

　　第１３条が削除されているが、選曲会議の形を変えて提案したいためである。

　　以上、役員より提案と説明

　　慶弔金規定について

　　　これまで、条件が曖昧であったため、はっきりさせる。

1. 死亡弔慰金は団員の配偶者、団員の子または団員の父母の死亡の場合

→（団員より）配偶者の父母については？　⇒（役員）第２条の役員会の判断の中に含む

1. 結婚祝い金

→（団員より）団内結婚の場合は２人分なのか？

（役員）これまでは一律１万円だったが、団内の場合は２万円とする。

　　（団員からの意見）

　　　○役員の職務内容が記載されていない。

→団即に乗せるか、役員名簿の備考に記載されるのみでよいか

　　　　実際に不都合も生じない模様なので別途記載とする。

　　　○総会の議決数がはっきりしていない。

→総会成立については記載されているが、過半数議決とすると多数決ですべての物事を動かすことになる心配がある。議決条件については各総会の中で決定していった方がよいのではないか。→採用

○高校生の入団については保護者の同意が必要という点を明文化すべき。→付け加える

　　　以上の協議の結果、承認

第４号議案　役員の選任について

　団長が昨年より小谷幸久先生に。顧問が寺岡先生に。

　資料参照→承認

第５号議案　JWECC委嘱参加について

　平成25年度予算の中に、This is the Drumの委嘱料が入ってくるが、来年度以降も委嘱の話が来ることは必至。委嘱曲の中にはやはり素晴らしい曲も多く、団のためにもなるためチャンスがあれば参加したい。しかし、今年度のように毎年事後承諾になっていくこともよろしくないので、役員の吟味によって（会計的なことも考えて）決定していきたい。

　→（団員より）役員一任で構わないが、実際に委嘱に参加する際にはタイムリーに団員に伝えてほしい。

第６号議案　春一番其の３２について

　・ゲスト招へいについて

勝田として共演していない楽器にフルートとあるが、フルートは太田朱美氏を呼んでいる。

→太田氏はポップスゲストという新たな試みであったが、今までのように２部の大半を任せるようなゲストとしては、フルートは呼んでいない。

　・ゲスト招へいについては団員のレベルアップや集客の点にもつながると思うので31回（ゲストなし）について情報が欲しい。

　→ゲストを呼ばなかった31回については淀江開催、他団体の演奏会との同日開催等、近年のデータと比べることが難しい。ただ、そのような中で目標としていた300人集客を越えることが出来たことは報告します。

　・補助金が取れれば呼びたい

→「補助金が取れればゲストに出てほしい」と腹わって話ができるゲストを交渉

　⇒役員会でゲストを呼ぶ方向で動いていく。情報についてはその都度報告

第７号議案　選曲方法の変更について

　資料参照

団員より

・時間がかかりすぎない、コンセプトを考える、演奏会の曲の難易度について考慮してほしい

　　・今後、会議の会場はどこになる？

→委員会の参加人数によって変更する。

第８号議案　指揮者の選出について

　資料参照

　　承認。

その他連絡

　米東が顧問が変わり、部活運営がピンチになっている。勝田にトレーナーとして助けてほしい。（雑賀）

　　→まず保護者会の意見でなく、米東学校側がどう受け入れ体制が出来るかを確認してほしい。

　　　学校管理職の知らないところでスタートすることも出来ない。

　　　　　→鷲見さんの頃より「勝田は全県の中高生の指導を無償で全面的にバックアップする。」とうたってきていた。これは今も生き続けているので、米東に関わらず、支援要望があれば協力します。